

人より2倍、3倍働けば2倍、3倍に返ってくるという熱い思いで走り続ける

～選べる4種類のスープと10種類の焼き立てパン食べ放題1000円のランチ～

ホテルマンに成ったきっかけが“自身がホテルを買うことを決心したため”と語るのが、横浜・馬車道に建つ「横浜平和プラザホテル」を指揮する八橋康仁社長だ。ホテル業のホの字も知らない中、“いい車に乗りたい”という一心で、業界に飛び込んだと言う。英会話や施設の修理を独学で習得、成田空港への迎えのバスを運転するために大型免許も取得したと言う。人より2倍、3倍働けば2倍、3倍に返ってくるという熱い思いでコロナ禍においても「雇用を守る」ことを貫き通すなど内に秘めた闘志の炎はまだ燃え続けている。



エイトブリッジ(株)
横浜平和プラザホテル
代表取締役

八橋 康仁 氏

神奈川県川崎市生まれ。大学卒業後、1989年エイトブリッジ(株)創業、代表取締役に就任し、横浜・本牧にてホテル経営に着手。現在は横浜・馬車道にて「横浜平和プラザホテル」経営。ホテル事業部のほか、テナントビル、オフィスビル、マンション経営、リノベーション事業にも携わる。スキー、ウインドサーフィン、テニス、ゴルフ、ビリヤード、手話、車など多彩な趣味を持つ。

横浜市中区太田町 5-65
URL: www.heiwaplaza-hotel.com

不動産のチラシがきっかけで ホテル業に着手

石原 八橋社長とは同じ昭和40年生まれで、横浜青年会議所(横浜JC)の同期としてお付き合いしていますが、なぜ、まったく知らない業界に飛び込み、経営に着手されたのか、改めて経緯をお聞かせ下さい。

八橋 父が外資系金融機関退職を機に横浜の山手に家をほしいということで、学生時代に物件情報を求めて不動産に同行したことがきっかけです。そのときにホテル売り物件のチラシを見たときに、ホテル経営に携わってみたいと思ったことに始まりです。チラシを見た夜もそのことが頭から離れなかったため、親にその思いを伝え父の退職金と金融機関から融資をしていただき物件取得いたしました。ホテルで働いたことはありませんが、学生のときに飲食店やバーでアルバイト経験がありましたので、ホテル業であればできると思ったのです。物件取得ができるまでホテルで働こうと思い、横浜・鶴見にある68室のホテルで働き、ホテルを運営に必要な関係書類などの情報をいただきました。3カ月後ホテルを辞め、30室76人収容のホテル運営に着手することになったのです。

石原 まさに風雲児的なチャレンジャーです。どのようにして事業運営されていかれたのですか。

八橋 本牧は住宅街のため冠婚葬祭にご利用いただけるよう営業に出向いたり、

近くに「みなと赤十字病院」がありますので、入院患者のお見舞いや通院されている方にご利用いただけるよう、さまざまなお客さまに向けて営業をいたしました。ところが、清掃スタッフの人員不足の壁にぶつかりました。当時、求人広告への掲載料が高かったことから、求人募集の張り紙手作りし、最初は一軒家の地域に深夜1時ごろに貼りに行ったのですが、応募がほとんどなかったことから、スーパーや銀行、集合住宅の近くに貼り場所を切り換えたのです。ちょうど、貼り紙作業をしているときにパトカーにつかまり、無断で貼り紙をしてはいけないことを警告され、何をしているのかという問いに、清掃スタッフが不足して困っていることを伝えたのです。すると翌日朝9時に警察に呼び出しの連絡があったので、もしかしたら清掃の人を紹介してくれるのかも?と思い出向いたのですが、始末書を書かされることになったのです。しかし、以来、継続していた貼り紙活動に注意されることはありませんでした。

石原 八橋社長の真剣な姿に警察の方も心打られたのでしょうか。

八橋 また老朽化が進んでいましたので、修理を依頼した際に、その手法を見て覚え、自分でできるようにしたり、コックさんの退職に伴い、調理師免許を取得、またバブル崩壊後、宿泊客が減少する中、本牧ふ頭で船員が乗船下船し、船員が宿泊施設を利用している情報を聞き、乗船下船する船員を成田空港まで



送り迎えするために、大型免許を取得してバスの運転も行ないました。さらに自分の勤務後、宿泊の外国船員の協力を得て英会話を教わる日々でした。少しでもお客さまを獲得するために眠る間もなく働き続けていたのです。両親にも協力いただき、父は財務、母には経理のお手伝いをしていただきました。

自分を見失っていたことへの気づき

石原 すべてゼロから学んでいっしょやるのです。ところで奥様と出会ったきっかけはどのようなことですか。

八橋 ウインドサーフィンがもっとうまくなりたいと思い、コーチとして紹介されたのが妻です。当時、妻は22歳。私の10歳下ですが、学連の選手としても活躍中で、そのマリクラブは女子のプロとして世界チャンピオンも輩出するほどでした。それから3年後に結婚したのですが、東京ガスに勤務していた妻に“ホテル経営を一緒にやってほしい”とお願ひしたところ、ホテル業に専念してくれたのです。

石原 それは素晴らしいことです。八橋社長の懸命さに共感したのでしょうか。

八橋 しかしホテル運営を始めて5年後、信頼していた支配人が辞めたとき、自分を見失っていたことに気づかされた

のです。というのは横浜を代表する経営者が集まる横浜青年会議所に入会することができ、自分も大手企業の経営者のような錯覚になっていたのです。そのとき、働く人たちを大切にしなければならないと気づかされたのです。働く社員が物心ともに誇りをもって仕事をする。そして社員とその家族が幸せになることが社長の役目であることを追求した結果、契約社員でなく社員として採用し、コロナ感染防止を目的に発令された緊急事態宣言の前日に、全社員集めて雇用を守ることを、感染から従業員を守るとことを約束いたしました。パートもアルバイトも決して1人も辞めさせないと宣言したのです。コロナ禍でホテル借上げの依頼や問い合わせが殺到しましたが、断りつけてきました。今の横浜平和プラザホテルはJCの先輩の持ち物で、解体してマンションに建て替える構想も他社からありましたが、ホテルとして再構築する構想で採択されたのです。客室は30室から約200室となったのです。

客室5室をワーケーションルームに改装

石原 常に攻めの営業をされている中、今年4月、ランチ営業もスタートしましたね。

八橋 経済産業省の事業再構築を活用し、朝食を提供していたレストランをコワーキングルームとしてリニューアルオープンしました。他社と差別化をするため、パシフィコ横浜で採用されているWi-Fiなどネット

環境を強化しました。近隣にある横浜市役所にお勤めの方の一部がランチ難民になっているというお話を聞き、4月にはランチもスタートいたしました。4種類の選べるスープと焼き立てパン食べ放題で1000円が目玉商品です。パンは10種類あります。焼き立てパン食べ放題はある意味、話題性、認知度アップの広告宣伝費としてとらえています。一人でも多くの方にホテルの存在を知っていただきたい、手軽にご利用いただきたいという思いです。また入りやすくするために、2階につながる外階段も設置するほか、キャッシュレス化と感染防止策として非タッチパネル券売機で非接触にも配慮しております。このほか、客室5室をワーケーションルームに改装するなど、コロナ禍だからこそ挑戦できることに取り組んだのです。

石原 常に先手先手ですね。最後にひと言お願いいたします。

八橋 「正直は一生を幸せにする、私たちはうそのない正直な会社をつくりたい」と掲げた経営理念を軸に、決して大きな会社ではありませんが、誇りを持って仕事をする。人としてではなく、経営者として正しい判断か正しくないか分かりませんが、社長として銭や金ではない、この事こそ大事にしなければならないことだと思っています。今こそ、全社員で営業し、新サービスや新プランの開発に全力を挙げるときだと確信しています。また今後も新たなホテルの立ち上げにも挑戦していきたいと思っております。

(株)ホスピタリティデザイン 横浜 代表取締役 石原 健氏



神奈川県横浜市中区元浜町 2-23-1-705
URL: https://www.hospdy.com

〈プロフィール〉1965(昭和40)年東京生まれ。桜美林大学経済学部卒業/日本ホテルスクール卒業/ホテル産業経営塾卒業(第一期生)。ホテル センチュリー ハイアット(現ハイアットリージェンシー東京)で4年のキャリアを積み、1989(平成元年)年、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルの創業準備室に、第1期生として入社。開業後は主にセールスとして活動。39歳で販売担当部長となり、宿泊、宴会、婚礼、レストラン、イベント等の全ての販売を行なう。国内外からのVIPに対するおもてなしを行ない、4度にわたる皇室接遇担当の栄誉も授かる。また横浜青年会議所(JCI)のメンバーとしても活動し、2004年には100%出席賞を受賞。東日本大震災後、ウェスティンホテル仙台へ赴任、セールス&マーケティング部長として、総支配人の不在時には代行も務め、3年2カ月間復興支援の一端を担う。2014(平成26)年、(株)ホスピタリティデザイン 横浜を設立、代表取締役に就任、現在に至る。厚生労働省事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会会長、産業能率大学講師など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。